

夢を育て、力をあわせてはばたこう！

2010年 12月 1日発行

カ ム ニ テ イ ー

翔夢 N i t y

NO. 34

特定非営利活動法人 『翔夢』
障がい者ふれあい交流センター

〒547-0031

大阪市平野区平野南3-8-16

TEL (06) 6760-6167

<http://www.npo-cam.org/>e-mail: nandemosoudan@npo-cam.org

特定非営利活動法人 翔夢 法人本部 大阪市平野区平野南3-8-16

障がい者ふれあい交流センター

大阪市平野区長吉長原2-14-15

相談支援事業

ホープネット

TEL (06) 6760-6167 FAX (06) 6760-6168

就労継続支援(B型)事業

ドリームネット

TEL (06) 6760-6181 FAX (06) 6760-6182

地域活動支援センター

ハートネット

TEL (06) 6760-5343 FAX (06) 6760-5344

障がい者ふれあい交流センター 第2

大阪市平野区長吉長原2-11-8

生活介護事業

ジョイネット

TEL (06) 6155-9901 FAX (06) 6155-9902

障がい者ふれあい交流センター つるみ支所

大阪市鶴見区浜4-18-7

就労継続支援(B型)事業

ワークネットつるみ

TEL (06) 6912-7333 FAX (06) 6912-7334

ご協力のおねがい

NPO法人「翔夢」では、アルミ缶のリサイクル活動も行っております。近隣ならばお伺いいたしますので、ご協力をお願いいたします。

ご連絡は下記へ。

ハートネット

(06)

6760-5343



翔夢Nity.34 もくじ

- P1..... 表紙
- P2..... 厨房より・お知らせ
- P3..... ワークネットつるみオープン
- P4・5... レクリエーション
- P6..... こころの病気基礎講座
- P7..... 障がい者作品展
- P8..... メンバー紹介

表紙の写真はスポーツ大会です

厨房からのお便り

朝晩、めっきり冷え込むようになりましたね～

こんなに寒い季節には、身体のあったまる料理がいいですね！

12月といえば、鍋料理ですね。

その他、昔から冬至にカボチャの料理を食べて、柚子風呂に入ると風邪をひかないと言われていていますよね。



カボチャは、夏に収穫され保存性が良く冬まで保存できる野菜で、糖質・カロチン・カリウム・ビタミンCを多く含んでおり、風邪などに対する抵抗力をつけてくれます。

柚子には、血行促進・殺菌作用もあるので身体が温まり風邪をひきにくいと言われています。

カボチャを食べて、柚子風呂にゆっくりつかって、風邪対策をしましょう。
(福井)



賛助会員入会のお願い

「翔夢」の活動をご理解いただき、賛助会員に入会をお願いいたします。

募金・賛助会費振込先

郵便振替

口座番号 00980-8-317336

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

口座番号 普通 4636394

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

ワークネットつるみ 開設

平成二十二年一〇月一日、自然あふれる鶴見緑地の近く、花博通り沿いに当法人として五番目の施設であるワークネットつるみ（就労継続支援B型事業）が開設致しました。

開設の経緯は、昨年の夏に鶴見区内のリネン屋さんからの当法人への内職（フェイスタオルのたたみの作業）の請け負い依頼に始まりました。内職を請け負う日々の中で、「企業とのコラボレーションで障がい者の就労支援を実現させよう」という



ワークネットつるみ前景

当法人の想いの元、今年の一月に鶴見区内の倉庫を借り、遠くは平野区や寝屋川からメンバーが集まり、タオル類やサムエ、バスローブのたたみの仕事を行うようになりました。そして夏に倉庫の改修工事を行い、洗濯機と乾燥機を揃え、たたみの作業の他にリネン類の洗濯・乾燥の作業も行えるようになりました。

メンバークはタオルたたみの作業や洗濯・乾燥などの作業を通して、仕事をすすめる上での技術、知識、連携力などを身につけるべく、日々努力をしております。仕事の実力がついてきたメンバーの中には、協力企業の元で施設外実習として仕事をしている方もいます。

さらに、メンバー一人ひとりがお互いの長所を知り、認め合っている光景を感じる事がありません。通所間もないメンバーの中には、人見知りをしてなかなか周りに溶け込めない方もいます。



洗濯の作業

ました。しかし、そのメンバーの持つ様々な「魅力」を他のメンバーが知り、ふれあうことで、自分の素を出せる居場所として認めたのではないか。そう思ったりします。現在そのメンバーは、

作業のときには他のメンバーに作業を教え、休憩の際には笑顔を見せながら話の輪の中にいたりします。

作業を通して、生産社会に参加・貢献する場、仕事の技術を磨く場、そしてメンバーそれぞれが「魅力」を引きだせる場、そんな場であつたらいいと思います。

（佐藤）

スポーツ大会

みんな笑顔で頑張りました



十月二十一日、スポーツ大会が行われました。昨年はインフルエンザの流行で中止となりました。

今回は良い天気にも恵まれ、みなさん表情もとても明るいきいきしながら楽しそうに一つひとつの競技に取り組みました。

開会式の時はいなさん少し緊張気味でしたが、ラジ

オ体操を行ってからは緊張がほぐれたのか周りの方々と自然に会話がはずまれているように思われました。ラジオ体操の順番を無視する人、きつちりとされる人といった二つに分かれていて、それも一つの準備運動だと思いました。

一種目はフラワーバスケットという競技で、複数のゴールにボールを投じて入れる競技でしたが、みなさんスタートと号令がかかると同時にボールを持って投げ、顔つきもいつもと違い他のチームに負けたくないという気持ちでされていたことが、職員に伝わってきました。また、ストップの号令も聞こえないほどで、職員が中に入り止める位白熱していました。その後、どちらが勝ったか一回一回発表をすることになっていたので発表すると、勝ったチームの方々は手を叩いて喜びを表現していました。

二種目のティーバッティングでは、我こそは、みんなより遠くにボールを打とうとバットを振って練習する人も出てきたり

していました。

最初の人は空振りから始まりましたが慌てずにきちんと打たれていました。が、次の方は笑いを取る為か知ってボールには当てずバットを振ってこけたりして、その場を盛りあげてくれるメンバーさんもありました。

二種目も終わりみなさんが楽しみにしている昼食の時間になり、皆とてもおいしそうに食べていて競技中とは違う顔になり、和気あいあいと食べられていたのが印象に残っています。

昼食中には測定競技もあり、それには多くの方が参加され、遠投・三〇メートル走と記録をめざし頑張っていました。チームの得点には全く関係は無かったのですが、参加した方々は日頃の運動不足を解消するところ



もあつたのかも？

感動したのが三〇メートル走で、車いすで参加をされる人もあり、最後まで完走されていました。転倒をしても、また立ち上がって走られる方々も中にはいましたが、顔つきはとても明るく、最後までやりきったという顔をされていました。

参加された方々には記録認定証が渡されましたが、その認定証を見せ合いもされていました。

午後からはゲートボールで、中々ゲートを通らず、どのチームもかなり苦戦をされていました。あいまに、ズルをするチームが有り相手チームから指摘をされる場面もありました。

つづいて、ストラックアウトの競技。個々に投げる距離を申告して投げてもらいましたが、それでも的に当たらない方、全



(坂野)

く違う所に投げられる方もおり、爆笑されるメンバーさんの姿もみられました。

最後の種目として、メンバー全員参加の玉入れの競技。スタートの号令も無いのに籠にめがけて球を投げる方もいて、やり直してスタートしました。両チームとも入らなかつた球をすぐに拾って籠をめがけて投げていました。終了の合図がわからず投げる人も有り、籠を枠の外に出すこともありました。

みなさん、疲れもみせず競技に取り組んでいました。楽しい一日を過ごされた事と思えますが、ケガ人もなく無事に終わる事が出来ホツとしました。

カレー大会

～ 色んなくみあわせで ～

今回のレクリエーションのお知らせがメンバーさんに配られ説明するとどんなカレー？何種類あるの？辛いのは食べれない・甘いのもチョットなど色々な意見が出るほどわくわくしてる様でした。

当日はレク担当の職員が少しでもインドの雰囲気を感じ、ひとつは音楽をインドの曲にしたり、ヒンズー教の絵の張り紙を壁中に貼りつけたり、男性職員がターバンを巻いたり工夫し、気分も雰囲気も盛り上げて取り組みました。

ホワイト・グリーン・辛口・甘口と四種類のカレーがテーブルに並び、ライスも白・黄色の二種類をおにぎりにし、また、パンの様なナンがあり、その他に卵・カボチャ・コロッケ・海



老フライ・サラダ・ウインナー等が並べられ、テーブルの上がすごく鮮やかに飾られていました。

次から次に配られてくる食べ物に目がキョロキョロし、量の多さにも圧倒されていました。

食事が始まるとガヤガヤしていたのがとても静かになり集中して食べられていきましたが、お腹が大きくなると「辛い」「甘い」「この味が合わない」など色々と話されてはいましたが、グリーンカレーと辛口カレーが人気があり・ナンも美

味しいと言う声も多く満足されているようでした。

食事が終わるとクイズ・インドでポン！が始まり、ハート・ドリーム・ジョイの各事業所で得点を競いました。ジョイは職員の坂野さんが司会で、クイズを1問言うつとインドでポン！と皆で声を出してから答えを何問かの中から選び答えました。

坂野さんの司会が余りにもカミカミだった為問題が解りずらく、ハート・ドリームチームに負けてしまいました。がとても楽しく過ごせたと言われ、お腹いっぱいと言いながら帰っていかれました。

(吉田)



自閉症とは…

前回に引き続き今回も自閉症の回です。前回は特徴のほうをあげさせてもらいましたが今回は自閉症の分類でお話をしていきたいとおもいます。

自閉症はIQの値から高機能自閉症、中機能自閉症、低機能自閉症にわけられます。

高機能自閉症：IQ七〇以上。
知的な問題はないが高機能といってもIQが普通以上に高いわけではありません。まれに健常者の平均知能指数より高い知能指数のかたもいます。

中機能自閉症：IQ五〇～七〇。
軽度の知的障がいと言葉のやり取りができることが多いです。

低機能自閉症：IQ五〇以下。
重度の知的障がいであった

く言葉がないことが多いです。

以上、三つに分類されますがこのなかで高機能自閉症とほとんど同じアスペルガー症候群を取り上げさらにお話を進めていきたいとおもいます。

アスペルガー症候群とは社会性・興味・コミュニケーションについて特異性が認められる広汎性発達障がいです。各種の診断基準には明記されていませんが、全IQが知的障がい域でないことが多く「知的障がいがない自閉症」として扱われることがあります。当然個人差はありますが多くのアスペルガー症候群のかたにみられるいちばん大きな特徴としてあげられるのは他人とのコミュニケーションが非常に苦手であるという点で

す。これは親兄弟などの身内なども同じです。アスペルガー症候群の障がいをもってしているひとが他人とのコミュニケーションが苦手となる理由は、抽象的なことを理解する感性が欠如している傾向があるためです。たとえば「悲しい」「怒っている」「うれしい」など感情を察するのが苦手なのです。このような障がいをもってしているため相手をつづけるようなことを言ってしまうてもそれに気づけず相手の気分を害したままにしてしまうこともあります。

これはほんの一例でほかにも様々な特徴があり、個人差があります。しかしいずれの場合であっても対話することによって社会に適応できるように導いていくことができます。特に他人とのコミュニケーションがうまく取れるように導いてあげる必要があるのです、そのひとの感じていることや考えていること

を聞いてそれをもとにアドバイスをすれば少しずつではあります。対応能力を高めてあげることができません。たとえば「そのときどんな風に感じたのか」などを聞いたうえで「そんな言い方をすると相手の人は気分を害するものなんだよ」などとひとつひとつ教えていけば少しずつではあります。コミュニケーションのとりの方のコツもつかめるようになるはずです。

簡単ではありませんがアスペルガー症候群の特徴をお話させていただきましたがどうだったでしょうか？アスペルガー症候群のかたに接するヒントになったら幸いです。
(三浦)



第33回

障がい者作品展開催

翔夢からも

多くの作品を出展

九月十八日から二〇日まで
泉北の国際障害者交流センター
(ビッグ・アイ)で開催された
「第三十三回障がい者作品展」
に、翔夢として初めて出品して
きました。この作品展と同時に



開催されて
いた「第八
回共に生き
る障がい者
展」には、
橋下知事や
元阪神タイ
ガースの赤
星憲広さん
なども出演
されていて
、初日の
会場は大賑
わいでした。

翔夢では今回の作品展を、メンバーの皆さんが日ごろ行っておられるさまざまな創作活動を広く紹介できる機会として出品をよびかけ、十五名の方々から出品をいただきました。「来場者から希望があれば販売するこ



品」としました。

さて、作品展には二〇団体あまりの団体と、数名の個人参加があつたようでしたが、団体のほとんどがそれぞれの自主製品の販売を中心にしておられ、鑑賞中心でほとんどが非売品の翔夢のコーナーは一風変わったもの

とになつていま「す」ということだったのですが、人形や手芸品などそれぞれに思い入れもあつて、一品制作のものには「売らないで」という声が多く、大半を「非売

に見えたかもしれせん。それだけに、作品は目を引いたようで、「(売りたいくないという作品だからこそ)売ってほしい」と言われる方もありました。また、二日目には、江(え)さんのワイヤーアートの実演販売を行い、子供たちに人気でした。

これからもこうした場を設けていければいいと思います。作品を出品いただいたみなさん、見に来ていただいたみなさん、ありがとうございました。

(石井)



メンバー紹介

翔夢の施設を利用されているメンバーの方をご紹介します

スポーツが得意 小宮 範久 さん

日々、ジョイネットにてメンバーさんや職員と楽しく過ごされています。

一見、大人しそうでクールに見えますが、時折見せてくれる笑顔は本当に素敵で、自分の考えをしっかりと持った男性です。

取り組みには、とても積極的に参加していただいています。特に体を動かす

事が大好きで、ジョイネットでは一番のスポーツマンです。中でも卓球はすごく楽しみにされていて、腕前はプロ級。何度戦っても一度も勝ったことが無い職員もい

るほどです。クラブ活動のソフトボール部の中でも中心選手で、守備では主にレフトを守っています。バッティングも非常に上手く、ソフトボール部にはなくてはならない存在です。

また、ジョイネット内での取り組みにも積極的に、能トレやグループワーク、クイズや絵を描いたり日々楽しく過ごされています。これからも色々な取り組みと一緒に考え、多くの事にチャレンジし、色々な小宮さんを発見したいと思います。

冗談大好き

イスラム さん

今回、紹介させていただくのはイスラムさんで原稿を書いてもらいましたがローマ字と英語なので本人に訳してもらいました。

わたしはバングラディッシュのマイメンシングという小さな町で一九六五年二月一五日の土曜日に生まれました。

一九八六年に日本に来まし

SHI-KI-PI NI HARI - ATO-DE KARE TO ISH-SHU-MI
SU-MU. GO-TO NI HARI-MASHI-TA. SO-NO ATO-
SO-NO SHI-RA-ISHI-SAN-SHI-E-JU-TAKU. NA-BA
HA-RA O ATTAITE - SO-KO NI ZUMU-YO-NI NATTE
- I- PLASTIC-SEI-KE KO-ZO DE HA-TA-MAI-TE
MA-SHI-TA. SO-NO TAKI HI-NI, HI-NI O-SANE O
RYO-FU-E-TE I-NKI-NA-RI MOTTO HINDOJI-
ZO-NYO NI O-CHI-TE SHI-MAI-MASHI-TA.
SO-NO TAKI ARU-HI (SO-NO NA-BO-HARA N
SHI-E JU-TA-KU) POST NI FU-DE-ai CENTER N
CHIRA-SHI MITE - R-D K-O NI (FU-DE-ai
CENTER) TA-BI-KO-MI MASHI-TE MINA-SANA
O-TA-SU-HA-KI O UKE-RU-YO-NI HARI-MASHI-
TA.
SO-RE-DE KON-NI-CHI OI WA-TA-SHI-
DESU.
KO-RE KARA-MO YO-RU-KU ONE-GAI-
SHI MA-SU.

Mr. Anisul Islam
MD. ANISUL ISLAM
17th NOV - 2010
WEDNESDAY

イスラムさんの直筆です

た。最初東京の赤羽に住み、池袋の日本語学校で三カ月勉強しそのあと大阪にきました。結婚し四人の子どもにも恵まれました。仕事はサーモスタットを作る仕事をしていましたが、以前からお酒は好きで仕事の時も頻繁に飲むようになり、日々アルコール依存の道へ突き進むことになりそれによって仕事もクビになり家庭も崩壊してしまいました。その後もビルでペンキ塗りの仕事をしたり、いろんな仕事をしたがお酒をやめることはできずしんどい状況に陥ってしまいました。平野区にきてもその状況は変わらず続いていましたが、自宅のポストに翔夢のチラシが入っており、それをみてここに来所するようになりました。現在では週に三日はワークネットつるみで作業することとなり、みなさんの助けをかりながら楽しく過ごしています。これから